

●美味しい夕食を ありがとう

日曜日に本当に友人のAさんと美味しいビュッフェの食べ放題を満喫する予定でした。



しかし、当日は人数が多くすぎて、とても好きなものを好きなだけ食べられるという雰囲気ではありませんでした。二人でどうしようかと考えたところ、「家と一緒に料理しようよ」とAさんが言いました。そして焼き肉にお好み焼を食べ、少し贅沢にワインを飲んだら、こっちの方が何倍も楽しかったです。

きっと私のことを気遣ってくれたんだろうなと思いながらも、その場で「ありがとうございます」とは言えませんでした。ここで言わしてもらいました。Aさんは「あの時は一緒に楽しんでくれてありがとうございました。」

(埼玉県/M・A)

●あの時の一言に ありがとう

いる。今、私がこうして笑つていられるのは友人のあの一言があつたからかもしれません。本当にありがとうございます。

(杉並区/K・O)

●娘にありがとう

30年以上前から毎年、この時期には大学のゼミの集まりがあります。先週も毎年の様にありました。周囲を見てみると人生とは本当に多種多様です。私はどちらかといえば地味なタイプでした。

ある時、一番親しかった友人がこう言いました。「普通つて大変だね。お前には十年後にもそのままでいて欲しいな。」この言葉がやけに印象に残りました。私はかつて母に反発していました。そんな母がいやで20代の前半で家を出て結婚しました。そんな私も2児の母。長女は今、反抗期を迎えています。娘に苛立ち、心反

ました。

それから年月が過ぎ、教授が退職され。その間に、周囲は出世街道まつぐら。それなのに、自分はそれなり。昔と変わらず周りが輝いて見えました。昔現在、還暦を過ぎ、相変わらず年に一度顔を合わせて話をしますが、徐々に周りの同期は環境が変わってきたようです。多くの人が仕事では成功しましたが、病気になった人、離婚した人、仕事以外の生きがいがなく、何も残らなかつた人。

そんな話を聞いていると、私は、適度に遊び、健康で、家庭にも恵まれてなかつた人。娘に私の元に生まれてきてくれてあります。

(横浜市/Y・T)

●高速救助隊の方に ありがとう



先日、義理の母をお見舞いに行きました。東京湾アクアラインを通って帰宅する途中に車から異音がしたので減速するとタイヤがバーストしていました。ガタガタと揺れ動く車を操作して路肩に止めました。



深呼吸をして、今置かれた状況を觀察することにしました。ここは料金所をすぎて5キロ地点。路肩は2メートル位しかなく左側はすぐ柵でその外は海。柵の隙間は大きくて波しうきが隙間から掛かるような錯覚がありました。右側はすぐ高速の車線で100キロ以上で車が通りすぎて行きます。ドアを開けるのは危険です。挙げ句にその日は低気圧の接近に伴い雪がちらついてきました。

切望的になりながらも、「これは自力では脱出来ない。救助を要請し

よう。」と救助を要請して左のドアから外出してジャッキとスペアータイヤを取り出す事にしました。

最近の車は収納位置や方法が複雑で何がなんだか解りません。ようやくジャッキを取り出したものの左側はすぐ海で

を抑えつつ耐えて悩み、親は子供を通して大人にしてもらうのだなどと思います。

おかあさんごめんなさい。そして、娘に私の元に生まれてきてくれてありがとうございます。

(横浜市/Y・T)

部品でも落とすものなら海に落ちてしまします。寒い怖いし、路頭に迷つて困り果てているところに救助の方が来て下さっていました。手際よく車線を確保してくださいました。スペアータイヤの出し方が解らず悪戦苦闘する私を見るに見かねて助言や手伝いまでしてくださいました。

結果、無事に帰宅する事ができました。地獄に仮とはまさにあなた達の事です。西村さん小池さんありがとうございます。

(渋谷区/N・K)

●スーパーのレジの女性に ありがとう



私の住んでいる町のスーパーにとても細かい心遣いが出来る女性が居ます。笑顔が美しくて気が回ります。

つい先日、蛍光灯が切れてしまい買いたい商品を会計する番になつてお金を支払い、持つてきた切れた蛍光灯を捨てられた現物をもつてゆきました。

(横浜市/A・Y)

（渋谷区/N・K）

●輪の中でありがとう

2月の半ば、東京で雪が降った日のことです。寒いので早く家に帰つたいたいと思いながらホームで電車を待つていました。



アクシデントによつて、寒い中なかなか電車が来てくれず、心の中で「こんな寒い中ずっと待つのなんて勘弁してくれよ」と思つて缶コーヒーで寒さを凌いでいました。

しかし、向い側のホームで作務衣を着た作業員の方々が線路で作業をずっと行つていました。そのとき不意に思つたのです。

寒い中何とかしてもらつて、他人に頼りきつた考え方ではまだまだいけないなど反省しました。

15分後、再び電車が順調に動きました。寒い中お疲れ様でした。

(渋谷区/M・K)

● 親友にありがとう

私は中学・高校と陸上部で長距離を走つていました。入部の理由は運動神経の鈍さをどうにかしたかったのです。

しかし、いざ走つてみると全身痛くなるし、勉強との両立は大変だし何度も挫けそなりました。それでも頑張



太洋戦争中、父は生まれ故郷の日立から疎開されました。先の大子町で小学生時代をすごしたそうです。父は小学校4年生の頃に戦後的小学校にはボールもバットも無くて、木の枝をけずつてバットを作り、布を丸めてボールを作つて野球の真似事をしてあそんでいたそうです。

ボロボロになつたボールを道具室でみつけた時なんぞそれはみんなの宝物であり、草むらで見あたらなくなると見つかるまで必至でさがしました。

そんな父が5年生になったある日、学校に進駐軍のアメリカ兵がやつて

● 進駐軍の兵士にありがとう



その時、自分の限界を超えた気がして最高の充実感でした。今の目標はホノルルマラソンです。

(兵庫県/K・I)

K君、学生時代はどうもありがとうございました。一人が父のそばにやつてきて「君上ると数カ月後、誰よりも後ろで走つていた私が「一人、もう一人」と抜いていき、最後には前に誰もいなくなつて最高の景色が見えた気がしました。

その時、町で食堂を経営していた山川さんはオール大子という選抜チームの監督になりました。山川さんは社会人野球の経験者でした。山川さんは小学生の父を選抜チームに誘ってくれたそうです。大人に混じつてプレーする父が唯一恥ずかしかった事。それは父が小学生なので一人だけ半ズボンだったことだそうです。

「日本はとても貧しい時代だったよなあ。今の選手は恵まれている。」山川さんは「あの進駐軍の兵隊さんに褒めてもらわなかつたら今の俺は無いな。それからと山川さんに声をかけてもらわなかつたら今の俺は無い。」

古いアルバムのオール大子の集合写真。山川監督の隣で得意げに大人のメンバーに混じつて腕を組んだ小学生の父。その後ろで父よりも得意げにハンチングをかぶつた祖父の姿をみながら「おやじにも感謝せんといかん。親父はいつも俺の試合を応援してくれた……」父の目にはうつすらと涙があふれていきました。

(ありがとう不動産 豊田泰由)

くざ集へ所ま トやた送 絵詩因り寄繩
だいへ配名す皆さ あかだり作画、んがせま本
さまの布を 様せりでいく品などは俳だとてで誌は北海道
いしひ。ただ思ひの友北海道
たがりでございはたださいますが、こい知道
かれと山川さんに声をかけてもらわなかつたら今の俺は無い。



【原稿をお待ちしています。】



【携帯 De ショット】
多摩市のお客様宅にお伺いすると、アメリカンショートヘアのフーちゃん(1歳)が出てきてご挨拶。

しっぽをソンと立てて大きな身体(6.5Kg)をズボンに擦りつけて違う。カメラを向けると縁側の籬椅子に軽々乗って…はい、ポーズ!

- 携帯電話の方はQRコードから→→→
- パソコンの方は下記のURLから↓
<http://1039.seesaa.net/>
- メールでのご投稿は…
info@holonics.gr.jp



【編集・企画】株式会社ホロニックス総研・編集部